

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和02年01月24日

計画の名称	宮古市における良好な水環境の実現（防災・安全）（第2次）														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	宮古市														
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		1,025	A	1,025	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R2当初）	（R4末）	（R6末）
1	処理場及びポンプ場の長寿命化対策の実施率を0%（R2）を100%（R6）に増加させる。			
	処理場及びポンプ場の長寿命化対策の実施率 改築工事実施済施設数（箇所）／改築工に必要な施設数（箇所）	0%	52%	100%
2	管渠の長寿命化対策の実施率を0%（R2）を100%（R6）に増加させる。			
	管渠の長寿命化対策の実施率 改築工事実施済管渠延長（m）／改築工に必要な管渠延長（m）	0%	62%	100%
3	管渠耐震補強実施率を40%（R2）を100%（R6）に増加させる。			
	管渠耐震補強実施率 改築工事実施済管渠延長（m）／改築工に必要な管渠延長（m）	40%	80%	100%
4	処理場の地震対策実施率を0%（R2）を20%（R6）に増加させる。			
	処理場の地震対策実施率 改築工事実施済施設数（箇所）／改築工に必要な施設数（箇所）	0%	0%	20%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	宮古市	直接	宮古市	終末処 理場	改築	宮古浄化センター（長寿 命化）（宮古処理区）	水処理施設、汚泥処理施設	宮古市	■	■	■	■	■	330		策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-002	下水道	一般	宮古市	直接	宮古市	ポンプ 場	改築	中継ポンプ場（長寿命化 ）（宮古処理区）	電気設備	宮古市	■	■	■			86		策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-003	下水道	一般	宮古市	直接	宮古市	管渠（ 污水）	改築	汚水管渠（長寿命化）（ 宮古処理区）	布設替 L=246m、鉄蓋交換	宮古市	■	■	■	■	■	110		策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-004	下水道	一般	宮古市	直接	宮古市	管渠（ 污水）	改築	管渠耐震補強（地震対策 ）（宮古処理区）	閉伊川水管橋 L=162m	宮古市	■	■	■	■	■	427		策定済	
		地震対策																		
	A07-005	下水道	一般	宮古市	直接	宮古市	終末処 理場	改築	宮古浄化センター耐震補 強（地震対策）（宮古処 理区）	水処理施設、建築施設	宮古市						■	27		策定済
		地震対策																		
												小計						980		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
水道・下水道事業	A07-006	下水道	一般	宮古市	直接	宮古市	ポンプ 場	改築	中継ポンプ場（長寿命化） （宮古処理区）	電気工事	宮古市					■	45		策定済
		ストックマネジメント																	
											小計						45		
											合計						1,025		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	107	71	107	46	
計画別流用増 減額 (b)	9	6	1	3	
交付額 (c=a+b)	98	65	106	43	
前年度からの繰越額 (d)	35	35	20	42	
支払済額 (e)	96	80	84	85	
翌年度繰越額 (f)	35	20	42	0	
うち未契約繰越額(g)	35	1	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	2	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	27.81	1	0	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	既存設備の故障対応による 発注時期の変更及び入札不調				

事前評価チェックシート

計画の名称： 宮古市における良好な水環境の実現（防災・安全）（第2次）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との適合等 1) 都道府県構想（見直し予定を含む）に適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画との適合等 2) 流域下水道事業と整合性が確保されている。（流域関連公共下水道のみ）	
I. 目標の妥当性 上位計画との適合等 3) 市町村独自の下水道計画と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標値及び内容の妥当性 1) 計画人口は適正な数値となっている。（人口普及率等を目標値した場合）	
I. 目標の妥当性 目標値及び内容の妥当性 2) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 施設の長寿命化対策、地震対策	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が住民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 下水道整備が、他の污水处理施設の設置より優位となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が得られる事業で構成されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 河川等の水質改善に効果がある。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 3) 地震、降雨等により生じる災害を防止する施設を設置する計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 市町村独自の中期計画に基づいた計画となっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 都道府県構想により定められた目標と整合する計画となっている。	○

[illegible]

(参考様式3) (参考図面)

